

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 10 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22310156

研究課題名（和文）

南西アジア地域における宗教紛争と平和構築に関する比較研究

研究課題名（英文）

Comparative Studies of Religious Conflict and Peacebuilding in Southwest Asia

研究代表者 外川 昌彦（TOGAWA, Masahiko）

広島大学・大学院国際協力研究科・准教授

研究者番号：70325207

研究成果の概要（和文）：

本プロジェクトの3年間に企画・開催された研究会は15回を数え、インド、ネパール、アメリカ、イギリスなどの海外の研究者を含む、のべ49名の研究者が報告を行った。各分担者による研究成果としては、雑誌論文の総数は48点、関連図書は40点、学会などでの成果報告は、82回を数える。そのうち英語などの外国語論文は9点、外国語図書は6点、国際学会での報告は21回を数える。研究の最終年度には、メンバーのオリジナル論文を編集し、プロジェクト全体の成果として『研究成果報告書』を刊行した。

研究成果の概要（英文）：

During 3 years project under the title of Comparative Studies of Religious Conflicts and Peacebuilding in Southwest Asia, we organized the research seminars 15 times, and the total 49 researchers including the foreign scholars from India, Nepal, USA, and UK have presented. The total number of articles published in the academic journal by each member is 48, the total number of books is 40, and the total number of the presentations in various academic conferences is 82. Among them, the number of English articles is 9, English books is 6, and English presentations is 21. As a final report of the project, we compiled the original articles by each member and published.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
2011年度	4,600,000	1,380,000	5,980,000
2012年度	4,600,000	1,380,000	5,980,000
総計	14,000,000	4,200,000	18,200,000

研究分野：文化人類学

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：宗教紛争、インド、スリランカ、バングラデシュ、パキスタン、平和構築、南アジア

1. 研究開始当初の背景

南西アジア地域において多様な形態を見せる宗教紛争の構造的な背景に焦点を絞り、フィールドでの現地調査を重視することで、宗教紛争の歴史的・社会的文

脈を通じた事例分析の比較研究が計画された。

2. 研究の目的

本研究では、南西アジア諸国の地域研究の専門家による学際的な研究成果の統

合を通して、同地域において宗教紛争が発生する複合的な要因を解明し、同時に紛争解決の手段として注目される平和構築の実践の可能性とその問題点を検証することを目的とする。

3. 研究の方法

南西アジア地域で長年にわたり現地研究を行ってきた地域研究者による学際的な共同研究の組織によって、宗教紛争の要因の解明に資する現地理解の枠組みを構築し、同時に同地域での平和構築や民生支援の活動にも有益な示唆を与える、実践的な地域理解への枠組みを提示する。

4. 研究成果

各分担者による研究成果の実績は、雑誌などに掲載された論文の総数は48点を数え、そのうち査読付き論文は10点、英語などの外国語による論文は9点を数である。出版された関連図書は40点であり、そのうち英文などの外国語による関連図書は6点である。学会などでの成果報告は、総計で82回となり、そのうち国際学会での報告は21回を数える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計48件)

1. Kimura Makiko, 2013, 'Ethnic Conflict and Violence towards Internally Displaced Persons: A Case-Study of Bodoland Movement and Ethnic Clash', *International Journal of South Asian Studies*, 5 : 113-129 (査読無し)

2. Masahiko Togawa, 2013, *Sharing the Narratives: An Anthropologist among the Local People at the Mausoleum of Fakir Lalon Shah in Bangladesh*, 『イスラーム世界研究』第6巻(査読付き)、京都大学イスラーム地域研究センター(KIAS)、pp.21-36

3. 外川昌彦 2013 「藤井日達の仏教アジア主義とマハトマ・ガンディーの近代文明批判」 『宗教研究』日本宗教学会 第375号、pp.288-289. (査読無し)

4. 別所裕介 2013 『「アヒンサー」をめぐるストラグル—ダライラマの“非暴力主義”をめぐる挑戦と課題』 *HiPeC Discussion Paper Series*、21:1-30 (査読無し)

5. 別所裕介 2013 「バッファ・ゾーンの子ベツト 仏教—リメ運動の展開に焦点を当てて」、『宗教研究』、375:432-4 (査読無し)

6. 山根聡 2013 「総選挙実施に向け流動化するパキスタン」、『国際情勢紀要』、83:211-221 (査読無し)

7. 山根聡 2013 「英領インドにおけるウルドゥー語出版とムスリム知識層の台頭」、『アジアのムスリムと近代—1930年代出版物から考える—』、pp.3-26 (査読無し)

8. Yoshida Osamu, 2013, "Indigenous Initiatives and Capacity Development for Peacebuilding - Lesson Learned from HiPeC-II for Further Progress", *Proceedings of HiPeC Wrap-up Seminar, Hiroshima University Partnership Project for Peacebuilding and Capacity Development (HiPeC-II)*, pp.92-102 (査読無し)

9. 木村真希子 2012 「社会運動と集会的暴力—アッサムの反外国人運動と『ネリーの虐殺』を事例に」、『現代インド研究』(査読付き)、2 : 21-34

10. 田中雅一 2012 「名誉殺人—現代インドにおける女性への暴力」、『現代インド研究』(査読付き)、2 : pp.59-77

11. 田中雅一 2012 「タミル人の自決要求(1970年代)」、歴史学研究会編『世界史史料 11—二〇世紀の世界II 第二次世界大戦後・冷戦と開発』、岩波書店、pp.276-277 (査読無し)

12. 田中雅一 2012 「南アジアの宗教」、山折哲雄監修『宗教の事典』、朝倉書店、pp.274-287 (査読無し)

13. 外川昌彦 2012 「農民暴動のエスノグラフィ—バングラデシュにおける農村電化事業とODA事業後評価の経験から」、『Research Paper. 広島大学・平和構築連携融合事業(HiPec)』(査読付き)、pp.1-85

14. 外川昌彦 2012 「想起される「ガンディー」—パルタ・チャタジーの市民社会批判とマハト

マ・ガンディーにおける非暴力思想の形成」、『国立民族学博物館研究報告』(査読付き)、36(2):

181-226

15. 外川昌彦 2012 「一本の樹の無数の枝葉—1920年代の宗派暴動とマハトマ・ガンディーの宗教観の変遷」、『現代インド研究』(査読付き)、(2):3-19

16. 外川昌彦 2012 「バングラデシュの独立宣言」、『世界史史料』、11巻、岩波書店(査読無し)

17. 外川昌彦 2012 「女神の聖地をマッピングする—インド亜大陸のシャークタ派の聖地から」、『聖なるもののマッピング—宗教からみた地域像の構築に向けて』CIAS Discussion Paper、26:77-82(査読無し)

18. 外川昌彦 2012 「ベンガルの土人形とインダス文明」、長田俊樹編『環境変化とインダス文明・2010-2011年度成果報告書』、総合地球環境学研究所プロジェクト H-30、pp.143-144(査読無し)

19. 別所裕介 2012 『ネパールにおけるリメ系チベット仏教僧院の活動展開に関する報告—「バッファ・ゾーン」としてのヒマラヤ仏教圏という視点から』HiPeC Discussion Paper Series、14:1-40(査読無し)

20. 別所裕介 2012 「『アヒンサー』の実践をめぐるチベット仏教僧と漢民族信徒の関係」、『宗教研究』、371:342-3(査読無し)

21. 山根聡 2012 「パキスタン情勢をめぐる国際関係の変化」、『国際情勢紀要』、82:275-291(査読無し)

22. 山根聡 2012 「対テロ戦争によるパキスタンにおける社会変容」、『現代インド研究』(査読付き)、2:35-57

23. 山根聡 2012 「パキスタンの雑誌事情」、『アジア研ワールド・トレンド』、198:35-37(査読無し)

24. 外川昌彦 2011 「ガンディーと共に暮らす—1930年代の日印関係と藤井日達のインド体験」、『東洋文化研究所研究紀要』(査読付き)、159:322-360

25. 外川昌彦 2011 「マハトマ・ガンディーとの邂逅—1930年代のインドにおける藤井日達とその弟子たち」、『サルボダヤ』(1)~(4)(査読無し)

26. 外川昌彦 2011 「緊急特集：東日本大震災の被災者へのバングラデシュからのエール」、『遡河—バングラデシュの社会と文化』、16:34-35(査読無し)

27. 外川昌彦 2011 「ベンガルの季節めぐり(4)」、『遡河—バングラデシュの社会と文化』、16:74-77(査読無し)

28. 外川昌彦 2011 「マハトマ・ガンディーにおける宗教倫理と政治思想」、『宗教研究』、367:252-253。(査読無し)

29. Masahiko Togawa, 2011, Local Society and the Fieldworker: A Campaign for Protecting the Mausoleum of Fakir Lalon Shah in Bangladesh in 2000, Discussion Paper. 広島大学・平和構築連携融合事業(HiPec),総頁数 30(査読無し)

30. 外川昌彦 2011 <ベンガル語からの翻訳作品> 「タゴールの詩—タゴール生誕 150周年に寄せて」、『遡河』、16:40-43(査読無し)

31. 別所裕介 2011 『「難民」と「国民」の狭間で—ネパール・ヒマラヤ圏における“非-国民的”なるものの行方』、HiPeC Discussion Paper Series、10:1-32(査読無し)

32. 別所裕介 2011 「チベット東縁部における仏塔建立と民族アイデンティティの諸相」、『宗教研究』、367:286-8(査読無し)

33. 山根聡 2011 「パキスタン政治における権力構造の変容—行政と軍のバランスを崩した司法」、『国際情勢 紀要』、81:161-173(査読無し)

34. 山根聡 2011 「最近のパキスタン政治における権力構造の変容」、『パキスタン』、234:4-11(査読無し)

35. So YAMANE, 2011, The Horizons of Islam in South Asia-Iqbal and Maududi, 『東洋文庫欧文論叢』,68 : 143-174 (査読無し)

36. 山根聡 2011「対テロ戦争が南アジアにもたらした変容」、『現代思想』、39(13) : 178-187 (査読無し)

37. 山根聡 2011「南アジアのイスラームと日本」、『小日本 坂の上の雲ミュージアム通信』、9 : 3-5 (査読無し)

38. So Yamane, 2011, 'Laa Musaaviyast se Janam lene waalii Aawaazen: Unniisviin Sadii ke Aaghaaz men "Urdu Rasm al-Khat" kaa Tahqiiqii Jaa'iza', Tahqiiq(査読付き),19(2) : 1-48

39. So Yamane, 2011, The Horizons of Islam in South Asia: Iqbal and Maududi, Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko, 681:43-174 (査読無し)

40. 吉田修 2011「平和協力への『もう一つの道』 : アジアにおける実践を通じた『差異化』克服の理論構築と南アジアの事例」、科研報告書『アジアにおける実践を通じた「差異化」克服の理論構築～平和協力への「もうひとつの道」』 (研究代表者 : 吉田修、pp.1-7 (査読無し))

41. 木村真希子 2010「辺境から見た国際社会学の可能性」、『三田社会学』、15:83-87 (査読無し)

42. 外川昌彦 2010「マハトマ・ガンディーと藤井日達—1930年代の日印関係」、『宗教研究』、363:395-396 (査読無し)

43. 外川昌彦 2010「ガンディーが歩いた道—1946年のノアカリ暴動と今日の南アジア」、『季刊・民族学』、131:40-45 (査読無し)

44. 別所裕介 2010「現代東部チベット、ゴロク地方における『ケサル文化運動』に関する研究報告」、『日本チベット学会会報』(査読付き)、56:13-28

45. So YAMANE, 2010, Azaadii kii Inshaa-pardaazii- Jadiid Urdu Nathar ke Imkaanaat (ムハンマド・フサイン・アーザード

の散文と現代ウルドゥー散文の可能性 : 原文ウルドゥー語) Al-Aqriba, 9:178-183 (査読無し)

46. 山根聡 2010「対テロ戦争下におけるパキスタン情勢について」、『南アジア・イスラームの多角的解明—歴史・思想・文学・政治』、pp.60-90 (査読無し)

47. 吉田修 2010「インドの対中関係と国境問題」、『境界研究』創刊号、pp.57-70 (査読無し)

48. Yoshida Osamu, 2010, "The Introductory Note", In The Report of HiPeC Second Practitioners Seminar, Hiroshima University Partnership Project for Peacebuilding and Capacity Development (HiPeC-II), pp.9-12 (査読無し)

[学会発表] (計 82 件)

1. Kimura, Makiko "A Fluid Homeland: Erosion, Displacement and Life in the Char-Chapori Areas of Assam," National Workshop organized by the North East India Studies Programme, School of Social Sciences, Jawaharlal Nehru University (Jawaharalal Nehru University), 19 Mar 2013, India

2. Masahiko Togawa, 2013, Religious Syncretism in Bengal from the views of Rabindranath Tagore and Fakir Lalon Shah, International and Interdisciplinary Conference: Knowledge, Reality and Value, The Society for Indian Philosophy and Religion, Kolkata, 5 Jan 2013, India

3. So YAMANE 'Dual Trend of Urdu and Punjabi Prosody' International Seminar of Pakistani Studies in Japan (Lahore University of Management Science, パキスタン・イスラマバード) 22 Feb 2013

4. So YAMANE "Think Umma, Use the Modern-Networks of Modern Muslim Intellectuals in South Asia, 1900-1930, Central Asia Studies and Inter-Asia Research

Networks: Integrated Study of Dynamism in the Central Asian Regional Sphere(東洋文庫) 3 Mar 2013, Tokyo.

5. 木村真希子「南アジアの紛争地におけるマイノリティ女性への複合差別」日本国際政治学会(名古屋国際会議場)2012年10月20日

6. Kimura, Makiko “Memories on Japanese Soldiers: Narratives on World WarII in Naga Villages,”3rd Conference of the Asian Borderlands Research Network (National University of Singapore), 12 Oct 2012, Singapore

7. Masahiko Togawa, 2012, Fakir Lalon Shah and Postcolonial Predicaments in Bengal, International Conference on Religion and Globalization: A Changing Perspective, Centre for the Study of Religion and Society, Department of Sociology, Jadavpur University, Kolkata, 30 Nov 2012, India

8. Masahiko Togawa, 2012, Local Society and the Fieldworker: A Case Study of Campaign for Protecting the Mausoleum of Fakir Lalon Shah in Bangladesh, American Anthropological Association, San Francisco Hilton, San Francisco, 18 Nov 2012, USA

9. Masahiko Togawa, 2012, Local Society and Participant Observation: The Mausoleum of Fakir Lalon Shah in Contemporary Bangladesh, SIAS/KIAS-CNRS Joint Seminar, NIHU プロジェクト・イスラーム地域研究、Kyoto University, 3 Nov 2012

10. 外川昌彦「藤井日達の仏教アジア主義とマハトマ・ガンディーの近代文明批判」日本宗教学会(皇學館大學)2012年9月8日

11. Masahiko Togawa, Universalistic Religion in Bengal from the views of Rabindranath Tagore and Fakir Lalon Shah, Universalistic Religion & Multi-Cultural

Society: Tagore's Contribution (A Tribute to Rabindranath Tagore on completion of his 150th Birth Anniversary), International Forum for Studies in Society & Religion (IFSSR), Jadavpur University, Kolkata, 8 Jun 2012, India

12. Masahiko Togawa, Fakir Lalon Shah and Religious Syncretism in Bengal, Annual conference of South Asian Studies Association (SASA) VI, Claremont Graduate University, Los Angeles, 14 Apr 2012, USA.

13. 別所裕介“A Competed Landscape of Mountain: the Ritual Territory of 'feng shui' and 'yul lha' Cult in the East Frontier Region of Amdo”. 第3回国際若手チベット学会(神戸市外国語大学)2012年9月4日

14. 別所裕介「『アヒンサー』をめぐるストラグル—現代チベット仏教の社会参加をめぐる可能性と課題」第20回「宗教と社会」学会・20周年記念パネル企画(長崎国際大学)2012年6月17日

15. 別所裕介「バッファゾーンのチベット仏教—リメ運動の展開に焦点を当てて」第71回日本宗教学会学術大会(皇学館大学)2012年9月9日

16. So YAMANE 「Mardud Logon kii Be-bas Awazen Manto's kii “Toba Tek Singh”International Manto Seminar (Bangalore/インド) 22 Nov 2012

17. 山根聡「A Brief History of Urdu Education and Study in Japan」Pakistani Studies in Japan (COMSATS Hall パキスタン・イスラマバード) 2012年2月17日

18. 山根聡「ウルドゥー語と都市文化—食文化を通じた語彙の洗練とトポフィリア」日本南アジア学会(東京外国語大学)2012年10月7日

19. 山根聡「国家とウンマのすり合わせ—パキスタンとアフガニスタンをめぐるムスリムの議論—」アジア政経学会(関西学院大学)2012年10月13日(以下省略)

〔図書〕（計 40 件）

1. 上村英明、木村真希子、塩原良和編、2013『市民の外交ー先住民族と歩んだ30年』、「アジアの先住民族と日本の市民運動」、pp.133-143
 2. 田中雅一・奥山直司編 2013『コンタクト・ゾーンの人文学 第4巻 Postcolonial/ポストコロニアル』、晃洋書房
 3. 山根聡 監修 2013『マウドゥーディー著作目録と解題』人間文化研究機構地域研究推進事業・イスラーム地域研究・現代インド地域研究連携事業、pp.112
 4. 田中雅一・小池郁子編 2012『コンタクト・ゾーンの人文学 第3巻 Religious Practices/宗教実践』、晃洋書房
 5. 田中雅一・船山徹編 2011『コンタクト・ゾーンの人文学 第1巻 Problematique/問題系』、晃洋書房
 6. 田中雅一・稲葉穰編 2011『コンタクト・ゾーンの人文学 第2巻 Material Culture/物質文化』、晃洋書房
 7. Abhijit Dasgupta, Masahiko Togawa, and Abul Barkat, (eds.), 2011, Minorities and the State: Changing Social and Political Landscape of Bengal. New Delhi: SAGE Publications.
 8. Keiko Sakurai, Fariba Adelkha, So YAMANE, 2011, The Moral Economy of the Madrasa, Routledge, pp. 11-31
 9. 山根聡 2011『イスラームを知る8 四億の少数派』、山川出版社、pp.114
 10. 田中雅一・田辺明生編 2010『南アジア社会を学ぶ人のために』、世界思想社
 11. Muhammad Yusuf Khushk, So YAMANE, 2010, 『Adab aur Qawmi Sho'r』 Shah 'Abdul Latif University, pp.6-20
- （以下省略）

6. 研究組織

(1) 研究代表者

外川 昌彦 (TOGAWA, Masahiko)
広島大学・大学院国際協力研究科・准教授
研究者番号：7 0 3 2 5 2 0 7

(2) 研究分担者

木村真希子 (KIMURA, Makiko)
明治学院大学・附置研究所・研究員
研究者番号：9 0 4 6 8 8 3 5

田中 雅一 (TANAKA, Masakazu)
京都大学・人文科学研究所・教授
研究者番号：0 0 1 8 8 3 3 5

中谷 哲弥 (NAKATANI, Tetsuya)
奈良県立大学・地域創造学部・教授
研究者番号：5 0 2 8 5 3 8 4

別所 裕介 (BESSHO, Yusuke) (H23 より)
広島大学・国際協力研究科・助教
研究者番号：4 0 5 8 5 6 5 0

山根 聡 (YAMANE, So)
大阪大学・言語文化研究科 (研究院)・教授
研究者番号：8 0 2 8 3 8 3 6

吉田 修 (YOSHIDA, Osamu)
広島大学・社会科学学研究所・教授
研究者番号：6 0 2 3 1 6 9 3

木村 真希子 (KIMURA, Makiko)
明治学院大学・附置研究所・研究員
研究者番号：9 0 4 6 8 8 3 5